

無意識の 思い込み

「ジェンダー平等」という言葉は知っている。けれど、自分はそれについて何をどこまで理解しているのだろう。そんな疑問が、今回の講演会を受講したきっかけでした。

講座の中で印象に残ったのは「医師」という言葉から連想する人物像の話です。講師が画像検索の結果を示すと、年配の男性の写真やイラストが多く並んでいました。固定観念や差別はいけないと理解していても、社会の無意識のイメージは簡単には消えないのだと実感しました。

講師は、ジェンダーとは社会や文化によって形づくられた「男らしさ」「女らしさ」への期待や役割であり、ジェンダーバイアスはそれを当然と捉えてしまう思い込みだと話しました。こうしたバイアスは、自覚のないまま人の選択肢を狭めてしまうという言葉が心に残りました。

に気づくとき



無意識に刷り込まれた イメージとバイアス

何気ない言葉や選択が次の世代へつながっていく

講演を聞きながら、知り合いの高齢女性が息子に向けて「男の子だから、お母さんと妹を守るんだよ」と話した場面を思い出しました。悪意のない、愛情から出た言葉。それでも、こうした一言一言が、次世代を担う子どもたちの意識や役割感に影響を与えているのかもしれない。

我が家では、息子は青を好み、娘はピンクを好みます。一見すると子どもの意思に感じますが、その背景には社会の空気や大人の影響が重なっている可能性があります。



「わかっているつもり」では変わらない。今回の講演会は、自分の中の無意識に目を向け、日常の選択を問い直す大切さを教えてくれました。ジェンダー平等は、特別な誰かの話ではなく、私たち一人ひとりの暮らしの中にあるテーマなのだ、改めて感じています。

(宮川 記)

講師紹介 櫻井 彩乃 氏 一般社団法人 GENCOURAGE 代表理事

1995年生まれ。高校時代に同級生の一言をきっかけにジェンダー平等の実現を目指し活動始める。#男女共同参画ってなんですか代表として、国の第5次男女共同参画基本計画の策定に向け、30歳未満の若者の声と提言書を担当大臣に提出。ベンチャー企業や国際NGOでの勤務を経て、現在は、ジェンダー平等の実現に向けて、次世代のサードプレイス「ジェンカレ」を運営し、若者の声を政策に反映する活動を展開している。政府税制調査会特別委員、財務省財政制度等審議会臨時委員、第七期東京都男女平等参画審議会委員などを務める。2023年Forbes JAPAN「世界を変える30歳未満30人」受賞。



藤沢市市民会館 8.5周年記念事業
令和7年度藤沢市ジェンダー平等・男女共同参画講演会

**ジェンダー平等を
考えよう**

～地域社会・職場で誰もが自分らしく生きるために～

「男らしく」「女らしく」と言われて、何を学んだことはありませんか？
それは、私自身の身の回りに存在する性別による思い込みが
原因かもしれません。
ジェンダーに関する基礎知識や、思い込みがもたらす
影響を受け、できることを一緒に考えてみましょう。

日時
2025年(令和7年)
11月12日(水)
午後3時～午後4時30分
(開演午後2時30分)

参加費 無料

場所 Fプレイス ホール
(藤沢市藤沢市民センター・労働会館等複合施設)

申込方法 藤沢市ホームページ電子申請
または ☎0466-50-3501

定員 50人(事前申込制・先着順)

講師
櫻井 彩乃 氏
一般社団法人 GENCOURAGE 代表理事

申込受付期間
2025年(令和7年)
10月3日(金)午前8時30分～11月10日(月)午後5時
※手続開始・受付締切・住所希望の場合は、10月28日(火)午後5時まで

お問い合わせ
藤沢市 企画政策課 人権男女共同参画推進課
電話：0466-50-3501(直通) FAX：0466-50-8436
メール：fj2-jikendan.city@city.fujisawa.lg.jp

主催 藤沢市 共催 かながわ県(藤沢市川崎かながわ男女共同参画センター)